南ア・鳳凰三山

【報　告　者】Ｆ田ひ
【日　　時】2011 年 7 月 16 日～19 日
【参　加　者】Ｆ田ひ・会員外 1 名

≪コースタイム≫

16 日　JR 折尾 5:59～JR 小倉 6:47（のぞみ）～JR 名古屋 10:30（ﾜｲﾄﾞﾋﾞｭｰしなの）～
JR 塩尻 13:13（特急あずさ）～JR 甲府 14:15～JR 韮崎 14:38（ﾀｸｼｰ）～白山温泉
14:45　温泉入浴　白山温泉 16:13（山梨市民ﾊﾞｽ）～穴山橋 16:29－17:00（ﾀｸｼｰ）
～御座石鉱泉 18:00（ﾃﾝﾄ泊）

17 日　御座石鉱泉 5:00～旭岳 7:45～燕頭山 8:30～鳳凰小屋 10:35（ﾃﾝﾄ設営・休憩）
鳳凰小屋 11:25～地蔵岳 13:00～鳳凰小屋分岐 14:30～鳳凰小屋 15:35（ﾃﾝﾄ泊）

18 日　鳳凰小屋 5:00～鳳凰小屋分岐 6:00～観音岳 6:50～薬師岳 7:35～南御室小屋 8:56
苺平 9:45～杖立峠 11:19～夜叉神峠小屋 12:25～夜叉神の森 13:30
夜叉神の森 14:26（ﾊﾞｽ）～芦安温泉岩園館 15:00

19 日　芦安温泉岩園館 9:00（ﾊﾞｽ）～JR 甲府 10:00－10:42（ﾜｲﾄﾞﾋﾞｭｰふじかわ）～
JR 静岡 13:12（ひかり）～JR 名古屋 14:15（のぞみ）～JR 小倉 17:26～
JR 折尾 18:00

≪　報　　告　≫

海の日の連休を使って、南ア・鳳凰三山に登ってきた。山では天候に恵まれ楽しい思い出がたくさん残ったが、行きと帰りの電車ではﾊﾌﾟﾆﾝｸﾞがありﾊﾗﾊﾗすることが多かった。これが逆ではなくて、本当に良かった。

16 日　天気：晴

今日からの山行を楽しみにしすぎて、前日は眠りが浅かった気がする。予定通り小倉発の「のぞみ」に乗って、朝ごはんを食べていた時嫌なｱﾅｳﾝｽが入った。徳山付近の線路に異常が発生し、一時運転を見合わせるとの事。結局 15 分遅れで運転再開し、名古屋から乗るﾜｲﾄﾞﾋﾞｭｰしなのに乗り継ぎできず、みどりの窓口で名古屋からの電車の時間を全て変更し、指定席も取り直した。韮崎入りを 13 時過ぎに予定していたが、14 時を過ぎてしまった。当初は、有名な蕎麦屋さんで食事をして、白山温泉に行く予定だったが、蕎麦は諦めて温泉だけは行く事にした。白山温泉は源泉かけながしの日帰り温泉施設で、施設も新しく綺麗だった。大きなザックも番台から見える所に置かせてくれ、安心して入浴する事ができた。その後、御座石鉱泉までﾀｸｼｰで移動した。移動の途中、ﾃﾝﾄを張る場所が残っているか心配したが到着してみると、ﾃﾝﾄは全く張ら

れていなかった。車はたくさん停まってあるので、小屋泊まりと日帰り登山者の車なのだろう。好きな場所にﾃﾝﾄを張って、水は好きな時に汲み放題、きれいなトイレは使いたい放題で快適だった。明日は早いので 20 時前には就寝。

17 日　天気：晴時々曇

3 時起床、朝食を摂ってﾃﾝﾄ撤収 5 時に御座石鉱泉登山口を出発した。

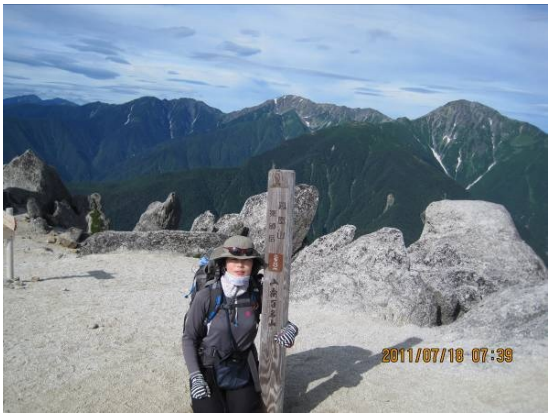
2～3 日前にﾄﾞﾝﾄﾞｺ沢ｺｰｽで遭難事故があったり、北岳で熊出没の情報が流れるなど、少し不安な気分での出発となった。御座石鉱泉の標高が 1180m、鳳凰小屋の標高が 2382m、午前中には 1200m登り終えたいと思いゆっくり確実に標高を上げていこうと意気込む。登山道は踏み跡がしっかり付いており安心して歩ける。要所要所に案内板がありとても分かりやすい。山と高原地図には燕頭山までは急登が続くと書いてある。確かに急登だが、腐葉土が堆積したような土なので、絨毯の上を歩いているような感覚でとても歩き易かった。粘土質のズルっと滑るような土だと、こうはいかなかったと思う。

旭岳の小さな祠を通過して、燕頭山まで順調に登ってきた。ここから鳳凰小屋までの道はなだらかな坂となっていたが、所々急な登りがありそんなに楽な道ではなかった。しかし、ここも踏み跡がしっかりしており道を間違いそうな心配は全く無かった。2 時間程歩くと、待ちに待った鳳凰小屋が見えてきた 10 時 35 分到着。テン場は既に半分くらい埋まっていた。「今晩は多くなるよ～テント張って地蔵岳行ってね～」と小屋番の方に言われテントを張る場所やトイレ、水場の案内をしてもらった。寝る場所が確保できてホッとした。テントを張って、少し休憩をして地蔵岳に向かった。お腹が空いたなと思ったが、早く稜線に出たくて必要な物だけをｱﾀｯｸｻﾞｯｸに入れて慌てて出発してしまった。地蔵岳までの急登を進んでいたがなかなか思うように足が出ない。お腹が空き過ぎて力が入らなくなった。鳳凰小屋から地蔵岳、赤抜沢ノ頭を通って小屋に戻ってくるまで 3 時間弱の予定だったが、4 時間もかかってしまった。しゃりバテってこれかなと思った。山では空腹

になる前にきちんと行動食を摂らないといけないのに・・・反省。鳳凰小屋から地蔵岳まで登る道は白砂のザレ道で、一歩足を出すとズズズっと足が元の場所に戻ってくるような蟻地獄みたいな道で色々と楽な登り方を試しながら登って行った。この時の天気は北岳側は晴天、甲斐駒ヶ岳側からはガスがすごい速さで地蔵岳に向かって流れてきていた。ガスが晴れるのを暫く待ってガスが途切れた時に写真を撮った。何人もの人がオベリスクの頂上に向かって登って行ったが、成功した人は一人もいなかった。ここから赤抜沢ノ頭を通り稜線まで出ると観音岳が見える。観音岳手前の鞍部で鳳凰小屋に下る矢印が出ているのでここを下っていく。1 時間弱で鳳凰小屋に到着。少し早いが 16 時には夕食を摂って、18 時には寝てしまった。

18 日　天気：晴のち曇

3 時起床、9 時間も寝たおかげで気分スッキリ、天気もいい。今日は稜線歩きが待っているとウキウキしながらテント撤収 5 時に出発。昨日鳳凰小屋まで下ってきた道を今日は登り返して観音岳手前の鞍部に到着。目の前には絶景が広がっていた。観音岳までは岩と白砂の道が続く、50 分程で観音岳に到着。「富士山も見える、北ｱﾙﾌﾟｽまでも見える、キャー!!槍ヶ岳が見える」と今回の山行で一番興奮した瞬間だった。観音岳から薬師岳までは、右も左も前も後ろも山・山・山で興奮しっぱなしだった。薬師岳に到着すると目の前に白峰三山、あ～いいな～登りたい。観音岳から薬師岳を過ぎる辺りまでの道は大きな岩が続いている。岩に矢印や○印がペンキで書かれてあり岩を登ったり下ったりしながら楽しい道が続く。薬師岳を過ぎると 5 分程で薬師小屋に到着。宿泊者も出払った後でとても静かだ。ここからは樹林帯の道をひたすら下って行く。



緩やかな下り坂が延々続く、下山後の温泉を楽しみに歩く。苺平・杖立峠を通過しやっと夜叉神峠に到着。足の指が痛くなったので、夜叉神峠では靴を脱いでゆっくり休憩した、もうひと頑張りで 13 時 30 分に夜叉神の森に到着。下山してしまうと急にお風呂に入りたくなる。広河原からやって来る満員のバスに無理やり乗せてもらい、本日の宿泊予定の岩園館前で降ろしてもらう。バス停も無いのに希望の場所で降ろしてもらえるのには驚いたが、とても助かった。
岩園館も源泉かけ流しの温泉で特に大露天風呂が良かった。熱湯とぬる湯があり、ぬる湯でゆっくり疲れをとる事ができた。

19 日　天気：雨
　台風の影響で、前日の夜から大雨。帰りの電車が乱れないといいなと思いながら甲府駅に到着。10 時 42 分のﾜｲﾄﾞﾋﾞｭｰふじかわまで時間があったので
お土産を探しに近くをウロウロしてみた。駅横に百貨店らしきお店があったので寄ってみた。入口にいい香りのする桃が売っていたので、家族のお土産に 1 箱買った。今日帰るので、宅配にはせず持って帰る事にした。
台風の影響で東京方面の電車はﾀﾞｲﾔが乱れていたが、静岡に向かう電車は時間通りの運行だった。10 時 42 分のﾜｲﾄﾞﾋﾞｭｰふじかわに乗って、静岡駅に到着。名古屋へ向かう新幹線に乗る直前、桃を持っていない事に気がついた。
忘れてしまった・・・ﾜｲﾄﾞﾋﾞｭｰふじかわの棚の上に。新幹線に乗り、車掌さんに状況を説明して、忘れ物預かり所の電話番号を教えてもらった。名古屋から小倉に向かう新幹線の中で電話をかけて、着払いで桃を送ってもらうようお願いした。私達が福岡に着いた翌日、桃も無事我が家に届いた。

　鳳凰三山は晴れていると道も分かりやすいしとても歩きやすいと思う。女性の単独行が多かったのもそのせいかもしれないと思った。
来年の海の日山行は、白峰三山+秘湯・奈良田温泉にしようと思った。